



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0131号 2021年1月15日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

2021年の幕開けにあたって！



1533人で新年を迎える

組合員のみなさん、「こみゅーと」をお読みのみなさん、新年おめでとうございます。昨年のご奮闘、また、ご支援にお礼申し上げます。

コロナ感染の未曾有の中でしたが、大きな前進を築きました。年間を通した相談活動を柱に、秋の組織拡大運動では、最高の145人が加入し、2021年を1533人で迎えました。

豊かな経験、活動がつけられる

コロナ禍で活動が制限され、団体交渉もままならない状況を打開し、江戸川ではパワハラとの闘いで24人を超える仲間を結成、足立では相談活動を強め、夏から年末にかけて20人を超える実増で50人支部に前進しました。文京では「わかもの食堂」を広げ、共同し「支援活動」を展開しました。各支部の活動が励ましました。

今、組合が求められている

解雇・休業など広がっています。東京地評等の呼びかけで年末（12/23）に取り組んだ生活支援活動に250人を超える人が駆け込みました。中学生の制服姿もありました。各地で支援活動が取り組まれています。事態は深刻です。

一方、年頭、日経や読売は「働き方、私が選ぶ」「時間・場所に縛られず」など労働者の権利抜きの記事を大きく取り上げました。今年、

**職場と地域で共同を広げ、
未来を切り拓こう**
21 国民春闘総決起集会
1月27日（水）
なかのゼロホール

開会18：45 開場18：30
国民春闘共同委員/東京春闘共同会議

労働組合の役割が求められています。

地域ユニオンの役割を果たそう！

第12回大会（7/12）で「1500人組合」を達成するなら、「新しい景色」が見えてくると呼びかけました。今年、1533人を力に、労働者の「駆け込み寺」の役割、「地域労働運動の活性化」めざし奮闘します。今年選挙の年、政治を変え要求を実現しましょう！

執行委員長 佐藤義見
 副執行委員長 唐澤一喜 小倉一男
 平山和雄 高島素昭
 大江拓実 寺川知子
 鈴木明彦
 書記長 高木典男
 書記次長 川村好正 宮本一

新年のごあいさつ

執行委員長 佐藤義見

（一面の前列中央が佐藤委員長です）

昨年は、コロナ禍を乗り越えて、1500名のCU東京を達成できました。組合員、家族、支部の役員の皆様に感謝申し上げます。

1500名になれば景色が変わると申し上げてまいりましたが、この間5団体と懇談をしました。57名から12年目の年に1500名に達成し、労働者の立場に立った全都的な活動は、各団体から高く評価されました。このことがまず、ひとつの景色が変わったことではないでしょうか。大会決定では3000名にむけてスタートをした新年です。組織の到達点を皆さんと確認し、共に前進をしてまいりたいと思います。

社会情勢の変化、何よりも労働者の差別化は深刻を増しています。労働者の無権利の状態が明らかになり、労働者一人一人の権利と人権、尊厳に寄り添う活動は、まさに「新しい労働運動」ではないでしょうか！このことを心に刻み、今年も奮闘してまいりたいと思います。

希望ある一年に！

支部委員長・書記長に聞く

女性労働者の約6割を占める非正規雇用労働者、コロナ禍のもと男女の格差が浮き彫りになり、雇用の調整弁として真っ先に切り捨ての対象となりました。労働組合でも、意思決定の場に女性の参加が求められます。支部で奮闘する女性の委員長・書記長にお話を伺いました。

- ①労働組合に女性が参加していくこと
- ②コロナ禍で女性労働者の悩みと向き合って

ユニオンちよだ 鈴木真理執行委員長



（左側、ちよだの仲間と）

①労働運動に参画する女性の人数や比率はまだまだ少ないと感じていますので、もう少し増やすべきだと思います。例えば組織の執行部においては3割から4割程度は女性に担ってもらいたいです。私は2016年、千代田区労協から女性の常任幹事を増やしたいと相談されたので立候補しました。しかし、その後は残念ながら、区労協、区労連、ユニオンとも女性役員は増えず2割未満の状態です。

今後、組織を拡大していくためには、女性役員、女性組合員を増やしていくことが必須

条件だと考えています。とくに、ユニオンちよだにおいては男女差別、マタハラ、セクハラなど様々な相談が寄せられており、女性ならではの対応により安心感をあたえ一緒に運動をすることができます。私は、女性の組合員たちが積極的に活動に参加したり、役員になってもらうためには組織の環境整備も必要だと思います。

②コロナ禍において、女性からの相談が増えました。飲食店や給食・配膳委託会社で非正規雇用として働いている方が不利益変更を受けたり、休業を強いられているからです。中には調理師免許取得を目指している方も何人かいますので、会社側に対し、実務経験を積むため、通常のシフトで働けるよう交渉を続けています。

また、数ヶ月も休業を強いられていると社会とのコミュニケーション不足に不安を抱いたり、将来に不安を感じたりしていますので、私たちユニオンが相談や悩みを聞いてあげるだけでも不安を緩和できることもあります。

ユニオンちよだは、現在80名前後の組合員数ですが、2021年度は100名を目指したいです。そのためには、某外資系企業内で結成した分会の組織拡大がポイントになると思います。また、別の外資系企業では6人の組合員がいますのでこちらも拡大していき第2の分会結成を目指していきたいです。同時に、年間の解決件数50件を目指したいと思います。解決件数を増やすことにより、比例して組合員の紹介も増えていく傾向があるからです。東京の中心地である千代田支部として全集中で頑張ります！

CU渋谷 海崎治代執行委員長

①ジェンダー不平等の根底には、労働価値の格差、差別があります。今様々な分野で多くの女性が声を上げています。働き方や賃金格差などについても多くの女性たちに知らせ、関心をもってもらう。運動に参加してもらう。そのためには、女性ならではの視点を持って労働運動を進めていく力が必要です。

CU渋谷支部を中心に、渋谷区労連女性セ



(前列中央 渋谷の仲間と)

ンター再建にむけて動き出しています。渋谷の女性労働の担い手となれるように、進めていきます。

②微力ではありますが、CU渋谷支部にもコロナ解雇相談は寄せられ、相談・団体交渉などを行いました。また、生活相談・安否確認など、継続した支援に力を注いでいます。渋谷の労働相談は女性2人が担当しています。役員も女性が多い。相談でも宣伝でも、心を寄せる、心に響くように。アイコンタクトも大切。「思いきって相談してみよう」と思って貰えるように、女性ならではの細やかさでCU渋谷の旗を揚げ続けます。

CU江戸川 新木輝代書記長

①私は、女性が積極的に参加していないとは、思っていないませんが、そう思われるのは何か？組織されていないから？リーダーが少ないから？だったら変えられると思います。



まずは、「女性だ」「男性だ」と括りをなくし、それぞれ自分の持つ力を発揮し、協力し合える労働組合に改革すれば、組合運動に参加しやすいのでは…。

②寄せられた声、相談を本人といっしょに解決していくこと。「声」を上げられない人に労働組合の存在を知らせ、仲間になってもらうこと。集めた「声」を社会に国にアピール・可視化し政治を変えること。地域に一人でも入れる労働組合がある事を広く知らせたい。江戸川支部200名組合員をめざします。

だれ一人取り残さないと今こそ、労働組合の出番です。希望ある社会に向かって力と合わせていきましょう。

各支部の奮闘

中野支部

CU中野支部は秋の拡大月間の目標(5人)を達成することができました。

最近、派遣やパートなど非正規労働者の方々からの相談が増えています。丁寧にお話を伺って対応してきた成果ですが、中野での拡大の大きな力になったのが、東京都教職員組合中野支部とOB・OGの方々の協力でした。



機会を得て、都教組のみなさんの集まりでCU中野支部の活動を報告しました。働くもの、とりわけ非正規労働者の厳しい状況や、不当な解雇・雇

い止めなどとのたたかいと解決などの報告に共感していただきました。その場で何人もの方が「協力組合員」として加入してくださいました。

都教組は生活と権利、平和と民主主義を守ると同時に、子どもと教育を守るたたかいをすすめています。教え子たちが劣悪な環境下で働く状況やたたかいについて、すぐに理解し深く共感を示してくれます。とても頼りになる存在です。労働者の尊厳を守り、働くものの「駆け込み寺」の役割を果たしていくたたかいをすすめる「仲間」として、これからもいっしょにすすんでいきたいと思っています。(中野支部 菊池恒美)

1500人達成のお祝いの言葉

全労連事務局長 黒澤幸一様

1500人達成おめでとうございます。

要求前進は、社会運動だけでは絶対に実現しません。当事者が労働組合に結集することが必要です。そのことが実践されたのだと思います。

さまざまなドラマがあったのだと思います。経験をぜひきかせてください。私も全国で講演などする際にその経験を広げたいと思います。

▶新年をCU東京は1533人で迎えた。労働相談活動、秋の月間の奮闘が実を結ぶ。みなさんと祝いたい。▶格差問題が問われている。その中で、男女格差は最大の格差の一つ。女性役員にインタビュー。CUの今年の課題にしたい。▶米大統領選挙はバイデン氏が勝利。最大の争点の一つはコロナ対策だった。菅政権も退陣ものではないか。東京は感染者の記録更新が続いている。▶スペインで反緊縮予算が成立、削られてきた医療、教育の予算が70%増に。政治を変える選挙は国民の権利、今年には都議会議員選挙、総選挙の年だ。

第33回杉並・中野・渋谷多喜二祭

2021年2月20日(土)13:30~

なかのゼ口小ホール チケット 1500円

記念講演 紙智子 日本共産党参議院議員

トーク 雨宮処凛・原田あきら

ミニコンサート 中川美保 サクソフォン